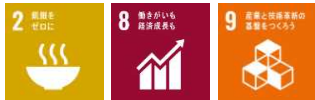


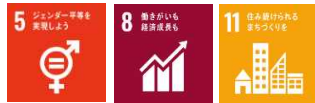
紋別港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

紋別港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種取組を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、紋別港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



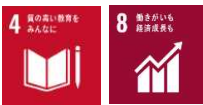
農水産物輸出促進の取組

紋別港では、施設の老朽化対策と併せて、主力であるホタテ等の陸揚げ作業に対応した屋根付き岸壁の整備を行っています。屋根付き岸壁により、陸揚げ・荷さばき作業時の就労環境が改善するとともに、水産品の清潔保持や品質向上により、輸出促進が期待されており、紋別市内の水産加工場等では設備投資が行われるなど民間投資も進んでいます。



みなとを核とした魅力あるまちづくり

「みなとオアシスもんべつ」では、紋別港港南地区で開催されるイベントを主催するとともに、2014年から「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」に出店し、地元開催となった2018年の全国大会inもんべつでは優勝の成績を収めるなど、紋別港のPR、振興活動に取り組んでいます。紋別港湾事務所では、「みなとオアシスもんべつ」や女性ネットワークと協力しながら、みなとを中心としたまちづくりにも貢献していきます。



みなとに対する学習機会の提供

紋別港湾事務所では、「みなと」について関心を持ってもらい、その役割を理解していただくために、周辺の学校や市民などを対象に「みなと見学会」を開催しています。見学会では、流氷観光船「ガリンコ号」に乗って、海の上から「紋別港」を見学する取り組みを行っています。



【目標】 2022年度1回→2023年度1回 ※みなと見学会+出前講座